

W O R K S

Y U K I S A K A T A

名前 坂田 裕樹 (さかた ゆうき)

生年月日 1994 年 4 月 1 日

住所 神奈川県川崎市宮前区けやき平 7-6-102

連絡先 090-5769-2444

e-mail yuki.s.9441@icloud.com

趣味 スポーツ観戦 (プロ野球)、料理

特技 テニス

スキル Vectorworks / Illustrator / Photoshop

略歴 2016 年 3 月 日本大学商学部商業学科卒業

2017 年 3 月 東京デザインプレックス研究所

空間コンテンポラリーデザイン総合コース修了

日本大学商学部を卒業後、インテリアデザイン・ショップデザインに興味があり、東京デザインプレックス研究所で1年間学ばさせていただきました。

東京デザインプレックス研究所では、商空間デザインを始め住空間デザイン、Vectorworks の CAD、照明デザイン、設備などインテリアデザインに関して総合的に学ばさせていただきました。実務経験はありませんが、これら学んだことを活かしたいと考えると同時に自分の長所でもある真面目さ・愚直に取り組む姿勢を活かし、全力で業務に取り組んで参りたいと考えております。

CONTENTS

01	ふたりの家	P.03
02	かつさんど × 珈琲	P.07
03	ジム × カフェ	P.11
04	浴巾屋	P.15
05	THE バイキング	P.16
06	BARBER SHOP	P.17



ふたりのいえ

～結婚間近のカップルの空間～

カテゴリ：Interior design

作成期間：3週間

ツール：Vectorworks / Illustrator / Photoshop

結婚を間近に控える一組のカップル。

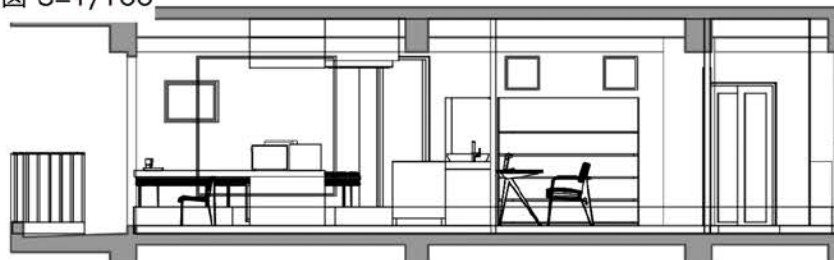
ふたりにとって、この場所で過ごす時間はとても大切である。なぜなら、これからの人生を大きく左右するから。仕事とプライベートを両立したい、そんなふたりが互いのことを尊重しあえ、向き合えるような空間を提案したい。





家具にこだわりの強い彼女のために、
各居室にデザイナーズ家具を配置した。

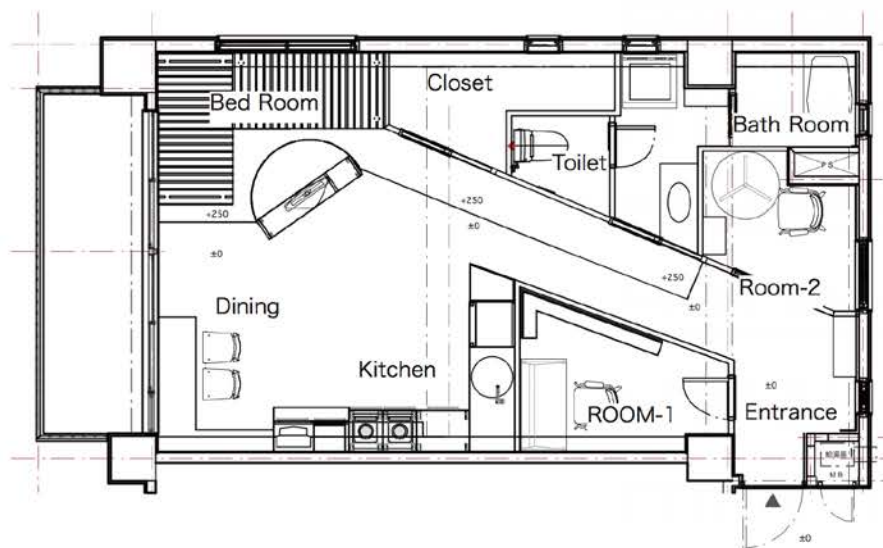
断面図 S=1/100



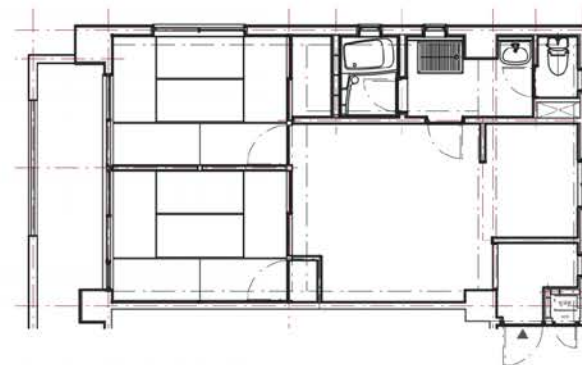
狭い廊下から DK に移動することで、
空間の広がりを感じさせる。

フロアレベルを変えることで、
土足とそうでない部分をカテゴライズ。

平面図 S=1/100



リノベーション前



・クライアント

名前：みよし みか

国籍：日本

年齢：28

職業：インテリアデザイナー

趣味：海外旅行（小物収集）、読書

要望：自室、DKには土足で行動したい。

モダンなイメージに。

名前：ハノイ ホイ

国籍：ベトナム

年齢：29

職業：庭師

趣味：サーフィン

要望：自分だけの空間が欲しい。

・面積

52.52 m² 15.89 坪



かつさんど×珈琲

～渋谷道玄坂に和ファスフード店～

カテゴリ:Interior design

作成期間: 3 週間

ツール:Vectorworks / Illustrator / Photoshop

業種業態:かつさんど×ファストフード

昭和初期に生まれ、手軽に食べられお腹を満たす軽食として人々に愛されてきたかつさんどは、世界に誇れる和食文化のひとつではないだろうか。

朝食、昼食または夕食のお供にもなるかつさんどは忙しいビジネスマンにとってぴったりの食べ物であり、また香り高いコーヒーは相性が抜群と言える。

より身近に、より手軽にという思いを込め、業態を「ファ

ストフード」にした。オフィスビルも多く建ち並ぶ道玄坂でビジネスマンが利用でき、仕事の疲れを癒すことのできる憩いの場のような店舗を提案したい。



曲線が特徴的な大きめのウィンドウを使用し、
尖らない優しさを感じさせる。

テイクアウト用の窓口で
気軽にオーダーが可能に。



和室をイメージした店内。

仕事の疲れを忘れさせ、癒す休憩所のように
利用していただきたい。

高さのない丸ソファ、テーブルを使用することにより、
あえて視線を下げさせ店内を広く感じさせる。

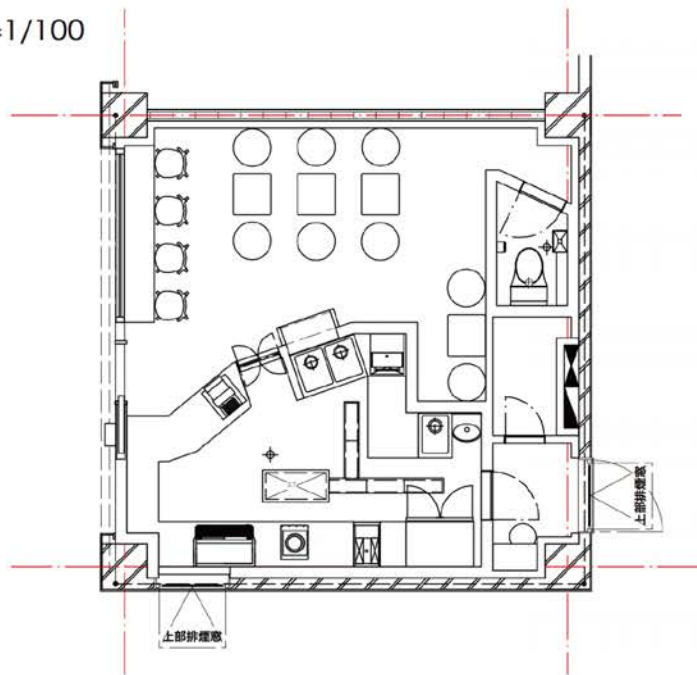


注文カウンターやカウンター席を用いることで、
「ファストフード店らしさ」を表現した。

珪藻土や木材を多用し、自然な雰囲気、
温もりや和みを感じさせる。



平面図 S=1/100



・面積表

面積	38.75m ²	11.72 坪	
CA	22.4m ²	6.78 坪	58%
EA	16.35m ²	4.94 坪	42%
総席数	12 席		
カウンター席	4 席		
テーブル席	8 席		
テーブルレシオ	1.5		

・経済合理性（イートインのみ）

客単価 ランチ 1200 円 ディナー 1800 円

予想月間売上の算出

$$1200 \times 12 \times 0.8 \times 3 \times 30 = 1036800$$

$$1800 \times 12 \times 0.8 \times 2 \times 30 = 1036800$$

$$1036800 + 1036800 = 2073600$$

適正投資額の算出

$$2073600 \times 0.15 = 311040$$

$$311040 \times 12 \times 3 = 11197440$$

・条件

テーブルレシオは 1.5 ～ 2.0 以内。

グリーストラップを必ず設置すること。

設置するグリーストラップはシンダー内埋設型及び床置き型とする。

厨房内には必ず従業員用の手洗い器を設置すること。

店舗区画内にトイレ、倉庫、更衣室を設けること。







ジム × カフェ

～商店街を活性化させるジム～

今やすっかり利用する人が減ってしまった商店街。商店街は高齢者以外はあまり利用しないが、近隣には大学もあり若年層の方も暮らしている。そんな立地条件を活かして商店街に人を取り戻す方法はないか。…ジムなのではないだろうか？身体を鍛えるだけでなく、運動不足の解消も可能なジムには多様なニーズがある。商店街を利用する高齢者も大学の学生、主婦、サラリーマンも皆に利用してもらい、それでいて商店街を巻き込む。そんな場所を提案したい。



・立地条件

駅には徒歩7分の距離。

物件はマンションの1、2階部分。

3階より上階は住居スペース。

一方には商店街、もう一方には大学へ続く道路に面している。

商店街は高齢者が多く利用する。

近辺には若年層の夫婦も多く小さい子供連れが多い。

カテゴリ: Interior design

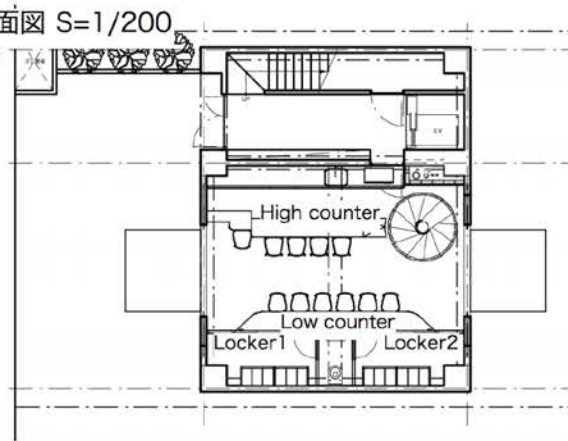
作成期間: 3週間

ツール: Vectorworks / Illustrator / Photoshop



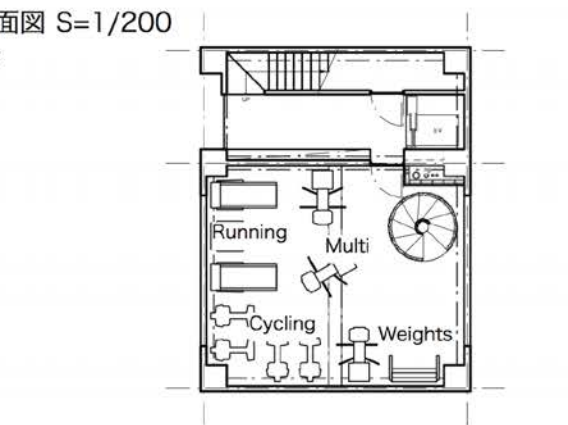
平面図 S=1/200

1F



平面図 S=1/200

2F



断面図 S=1/200



・内装

1 階部分出入口を両道路側に設けることで、商店街・大学側の両側からアクセスが可能に。ハイカウンター・ローカウンターを備え、高齢者も利用できるゆとりの場・コミュニケーションの場に。

2 階部分はクールな雰囲気、機械的な非日常感を与えトレーニングが捗る空間に。マルチ機器を配置することで、狭い空間でも多様なトレーニングが可能に。

・ジムが商店街を巻き込む政策

ジムの利用者には商店街で利用可能な割引券を配布。商店街の店舗の人にはジムの無料を解放。フードメニュー（ランチ）は商店街で売られている食材を使用し、ジムでは温めの調理のみを行い、大まかな調理は商店街の飲食店に委託する。更衣室にはあえてシャワー室は備えず、商店街の銭湯を利用していただく。

など…

・面積（カフェ、ジム部分）

1 階	カフェ	42 m ²	12.71 坪
2 階	ジム	42 m ²	12.71 坪

大黒埠頭にファミリー層に向けた複合型商業施設を想定。

その複合型商業施設に物販店、飲食店を提案。

浴巾屋

～オーガニックタオル専門店～

カテゴリ：Interior design

作成期間：2 週間

ツール：Vectorworks (トレース) / Illustrator

老若男女、いつも皆が使うもの…それは「タオル」
なのではないだろうか。

明治時代に日本で初めて作られ、以来人々に使
われているタオル（浴巾）はいつしか暮らしに必
要不可欠なものとなった。より安心なものをお
買い求めができ、そして原点に立ち返れる、そ
んな店舗を提案したい。

また店舗には工房を設け、「出来立てタオル」な
るものを販売することで、よりお客様に楽しん
でいただける空間となっている。

壁面に棚を設け、グラデーションで陳列。

売り場からは工房を見ることができる。

レジ横には贈答用などに対応可能なよう
相談窓口を設置した。



THE バイキング

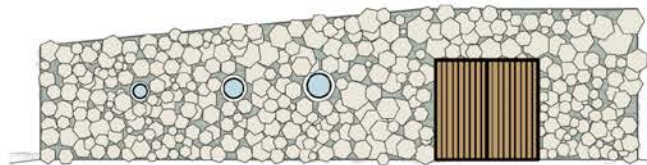
～カレー × バイキング～

カテゴリ：Interior design

作成期間：2 週間

ツール：Vectorworks (トレース) / Illustrator /

Photoshop



対してファサードは港の石垣を思わせる。

丸い小窓から店内を覗くことができ、
お客様を引き寄せる。

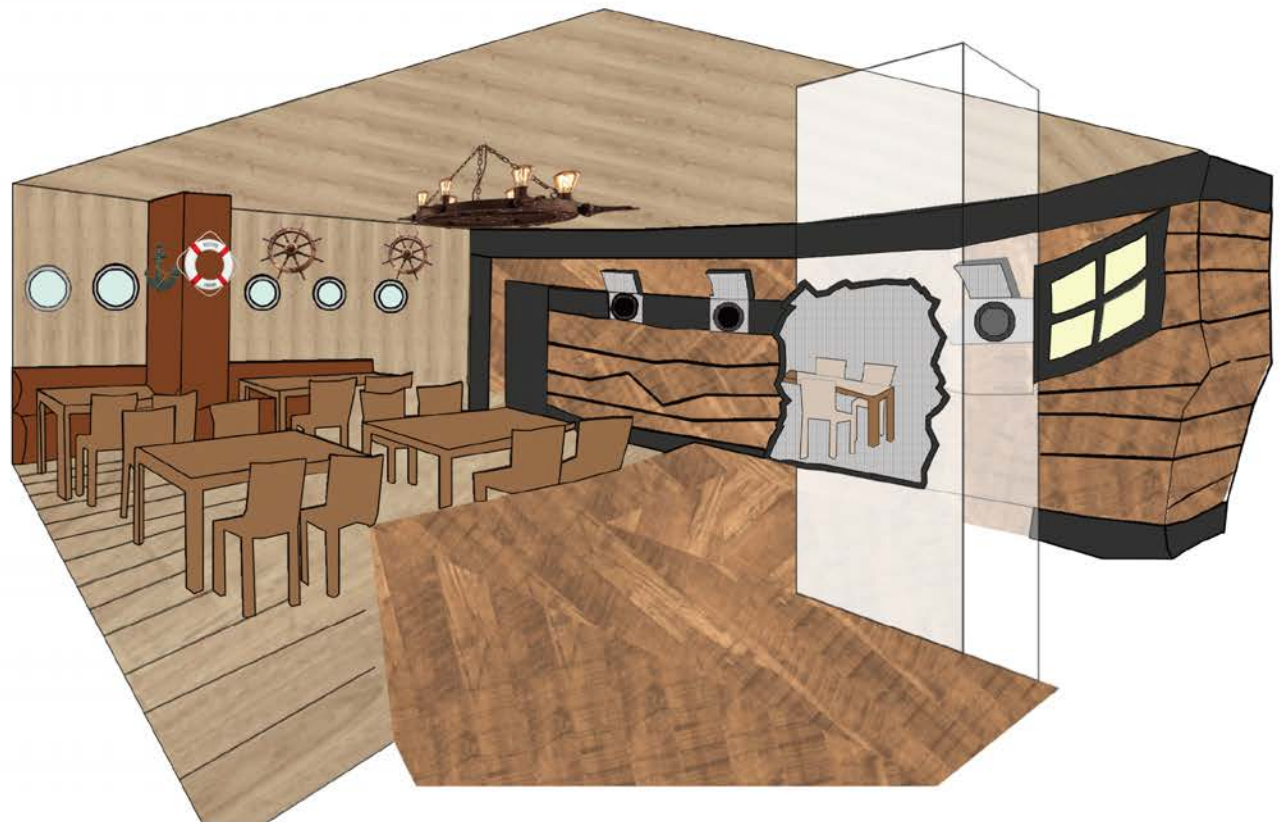
ターゲットを子供に絞り、「大黒埠頭→海+子供
→海賊船」を連想させた。子供が大好きなカレー
で「とにかく満腹に笑顔になって帰れるように。」
をコンセプトに企画した。

そのためバイキング方式を採用し、より満腹に
なれる場所となっている。

子供が楽しめ、笑顔になれるアミューズメント
型の飲食店を提案したい。

主に木材を使用し、船の内装を思わせる。

店内の奥にはシンボルである大きな海賊船、
中も客席となっている。





BARBER SHOP

～自転車店から「Barber」へ～

カテゴリ：Interior design

作成期間：1日

ツール：Photoshop / Illustrator

長年、町の人に慕われていた自転車店から「BARBER」へリノベーション。

「BARBER」は古くから親しまれてきた、大人の男性たちが髪を切り、髭を剃り、身嗜みを整える場所である。

そんな「BARBER」を男くさくカッコいい雰囲気、大人の男性のための理容室を提案したい。



内装はクラシカルでアメリカンな空間に。

外壁を緑化することで、アイキャッチに。

エントランスを広く大きく設け、
人々を誘い込む。

